

埼玉伝統芸能フォーラム事例発表

わしのみや さいばら かぐら

鷺宮催馬楽神楽伝承教室の 取り組みについて

令和7年1月26日（日）

越谷コミュニティセンター ポルティコホール

久喜市教育委員会文化振興課文化財・歴史資料係 栗原史郎

久喜市の伝統芸能

| | |
|-----|------------------|
| 国指定 | 1件（神楽1件） |
| 市指定 | 6件（山車行事2件、獅子舞4件） |
| 未指定 | 4件（お囃子1件、獅子舞3件） |

国指定 鷲宮催馬楽神楽

市指定 久喜八雲神社の山車行事（天王様・提灯祭）

上清久八坂神社の山車行事（天王様）

除堀の獅子舞、八甫の獅子舞、西大輪の獅子舞、中妻の獅子舞・棒術

未指定 小塚囃子

古久喜の獅子舞、吉羽天神社の獅子舞、小林の水ささら

久喜市の伝統芸能に対する伝承・保存の取り組み

伝統芸能の伝承・保存のため、3つの事業を実施

- ➡ 1 指定文化財補助金及び指定文化財維持等交付金の交付
- ➡ 2 郷土伝統芸能伝承事業（指導者謝金の一部を支援）を実施
- ➡ **3 鷲宮催馬楽神楽伝承教室を開催**

わしのみやさいばらかぐら

鷺宮催馬楽神楽とは

- ▶ 久喜市鷺宮の鷺宮神社に伝わる神楽。昭和51年に最初の国の重要無形民俗文化財に指定された。
- ▶ 平安時代に流行した歌謡の一種である催馬楽や神楽歌を取り入れた舞踏形式であることが特徴。土師一流催馬楽神楽とも称し、関東地方に伝わる神楽の源流とも言われている。
- ▶ 鷺宮神社の神楽殿で年6回奏演されるほか、久喜市八甫の鷺宮神社でも年1回奏演される。
- ▶ 演目は基本の12座とその他の3座からなる。



鷲宮催馬楽神楽 第四座 降臨御先猿田彦鈿女之段 (猿田彦)



鷺宮催馬楽神楽 第六座 八洲起源浮橋事之段 (浮橋)



鷺宮催馬楽神楽 第八座 祓除清浄杓太麻之段 (みそぎ)



鷺宮催馬楽神楽 第九座 五穀最上国家経営之段（種蒔）

鷺宮催馬楽神楽伝承教室（令和6年度）

- ➡ 主 催 久喜市教育委員会
- ➡ 内 容 鷺宮催馬楽神楽を基礎から学び、その成果を発表する
- ➡ 期 日 9月～10月の水曜日ほか、全10回
- ➡ 時 間 19時30分～21時（10月27日（日）は除く）
- ➡ 対 象 どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
- ➡ 定 員 20名 参加費 無料
- ➡ 指導者 鷺宮催馬楽神楽保存会会員
- ➡ 会 場 久喜市立郷土資料館 視聴覚ホール
10月27日（日）は鷺宮文化祭会場

鷺宮催馬楽神楽伝承教室（令和6年度）

▶ プログラム

（1）演目「第二座 てんしんいつかんもとすえかぐらうたさいばらのまい 天心一貫元末神楽歌催馬楽之段」

（2）内容

第1回目 神楽の説明、模範演技

第2回目～第9回目

舞・笛・大拍子・大太鼓・小太鼓の中から選択し、練習する。

第10回目（10月27日）


鷺宮文化祭にて練習成果を発表する。



神楽伝承教室 練習風景（令和6年度）



神楽伝承教室 発表風景（令和5年度）



鷺宮催馬楽神楽伝承教室を開催するようになった経緯

- 昭和63年度から平成2年度まで、埼玉県立民俗文化センターが主催して開催（国庫補助による民俗文化財地域伝承活動事業の一環）
- 平成3年度から平成21年度まで、鷺宮町教育委員会が主催して実施（事業を引継ぐ）
- 平成22年度以降、合併後の久喜市教育委員会が主催して実施

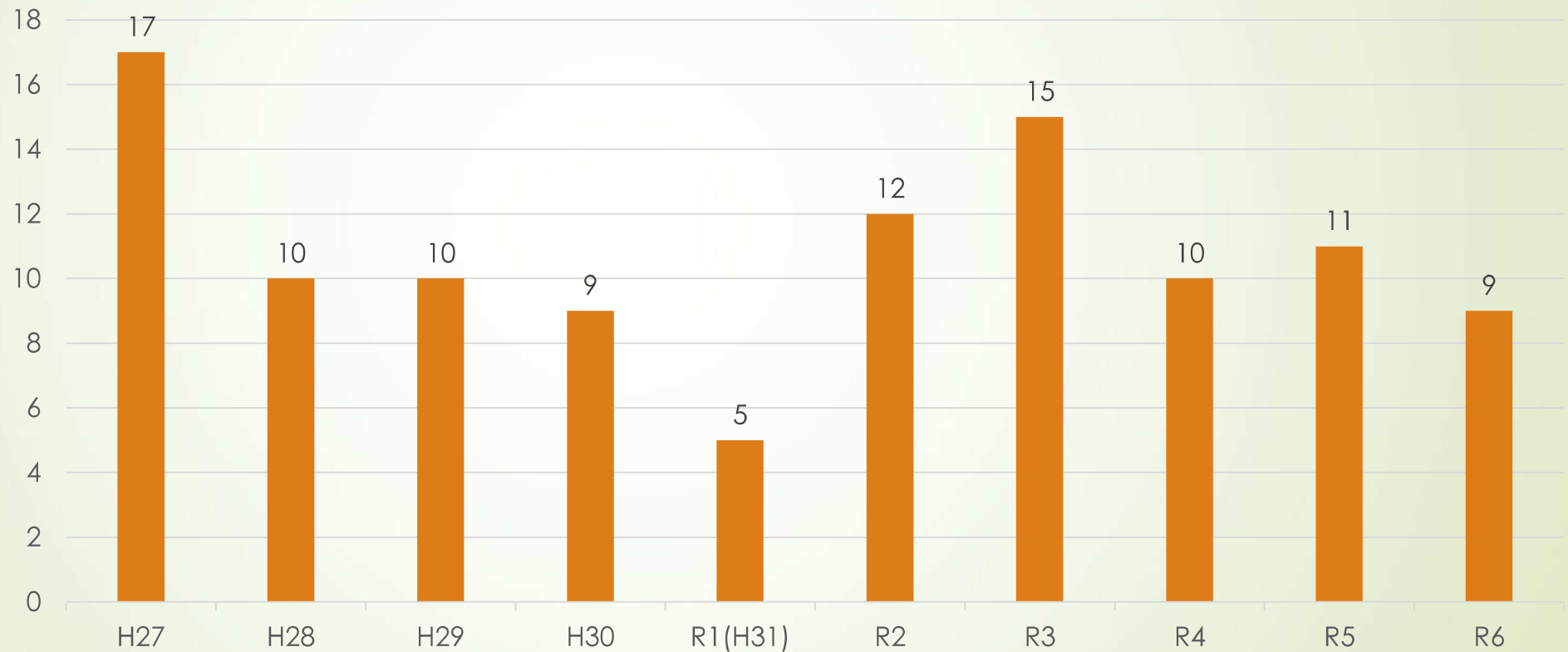
鷺宮催馬楽神楽伝承教室の運営

- ▶ 平成10年に鷺宮町立郷土資料館（現久喜市立郷土資料館）が開館後は、郷土資料館で伝承教室を開催。
- ▶ 郷土資料館は、常設展に「久喜市の歴史」に加え、「神楽の世界」のコーナーを設け、鷺宮催馬楽神楽を紹介。神楽に関する映像や図書資料を「神楽ライブラリー」として収集し、映像資料については貸出を行う。
- ▶ 神楽の資料館として鷺宮催馬楽神楽を支援

鷺宮催馬楽神楽伝承教室の参加者数の推移

- ➡ 最近の参加者数は10人前後。
- ➡ 参加者には小学生、社会人もいる。
(小学生は保護者同伴)
- ➡ リピーターが多い。
- ➡ かつては、鷺宮中学校の郷土芸能部の部員や、鷺宮神社の職員が参加することもあった。

鷺宮催馬楽神楽伝承教室の参加者数の推移（H27～R6の10年間）





受講者の声（アンケートから）

- ▶ 先生方お忙しいところ毎回分かりやすくご指導いただきありがとうございます。楽しかったです。素敵な経験ができました。
- ▶ 来年も参加したいと思っています。郷土資料館の皆様にも大変お世話になりました。
- ▶ 子供も良いチャレンジになりました。
- ▶ 10回の練習では足りなく、難しいです。
- ▶ 平日だと時間的に難しいので、土曜日・日曜日だけの講座があったらと思います。

指導者である神楽保存会員の声

- 細く長くやらないと続かない。
- 氏子に限定しない。女性でも神楽OK。
- パート分けは本人の希望による（本人がやってもらいたいことをやらないと続かない）
- 過度の期待はしない（保存会に入会してとは言わない）。神楽を知ってもらいたい（周知）
- 神楽の教材DVDができて教えやすくなった。



成 果

- 神楽伝承教室の受講者の中から、神楽保存会員になる人が出た。（4人が入会）
- 鷲宮催馬楽神楽を広く周知し、郷土の伝統芸能を大切にしようとする郷土愛を育むことができた。

課題

- ▶ 後継者を育成し、今後の保存伝承活動の一助とするため、神楽保存会と調整しながら、受講者が長く参加できるような教室にしていく必要がある。
- ▶ 神楽伝承教室受講後も、神楽を更に練習したいという方のフォローを図る必要がある。
 - ※ 神楽保存会の練習に参加してもらおう
 - ※ 新型コロナ前は鷲宮神社主催の教室があり、これに参加できた（月2回）